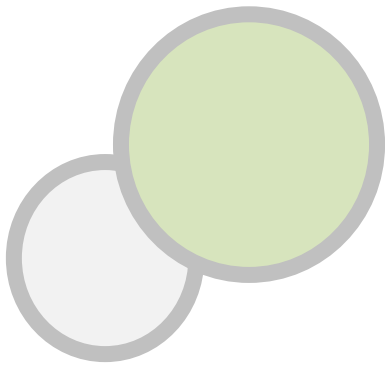
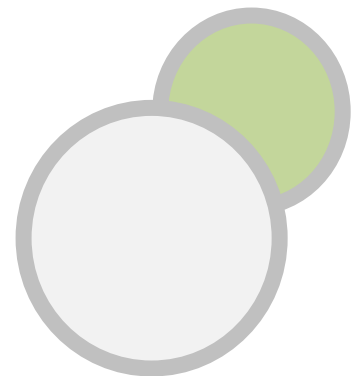




点検調書電子データ作成要領 急傾斜・地すべり編（概要）

第 1.0 版

広島県土木局砂防課



改 訂 履 歴

版	改訂年月日	該当箇所	改訂内容
1.0	2013/8/1		新規作成

目次

第1章	一般	1
1	総則	1
2	納品物	1
3	配布する資料	2
4	点検結果入力システムにおける注意事項	3
5	電子媒体	4
6	ウイルス対策	4
第2章	納品用電子データ作成時の留意事項	5
1	画像を保存する	5
2	電子データを圧縮する	5
3	電子媒体に複製する	7
第3章	システムの概要	8
1	急傾斜点検結果入力システムの概要	9
2	画面遷移図	11
3	業務の流れ	12
4	地すべり点検結果入力システムの概要	13
5	画面遷移図	16
6	業務の流れ	17
第4章	点検前の事前準備について	18
1	概要	18
2	点検時に持参するもの	18
3	点検場所の周辺情報を点検調書から確認する	19
第5章	点検結果登録の留意事項について	20
1	GPS付デジタルカメラを使用して簡単に点検登録する	20
2	急傾斜施設、地すべり施設ごとに点検結果を登録する	21
3	危険箇所ごとに変状箇所位置図を登録する	22
4	危険箇所ごとに観測位置図を登録する	23
5	観測写真の画像、座標を登録する	24
6	危険箇所情報に修正が必要な場合	25
7	施設情報に修正が必要な場合	26
8	点検結果登録の完了	27
第6章	その他注意事項	28
1	様式別点検調書入力時の損傷状況について	28
2	画像登録時のファイルサイズ等について	29

3	画像登録のサイズの違いについて	30
4	観測写真位置図の作成方法について	31

第1章 一般

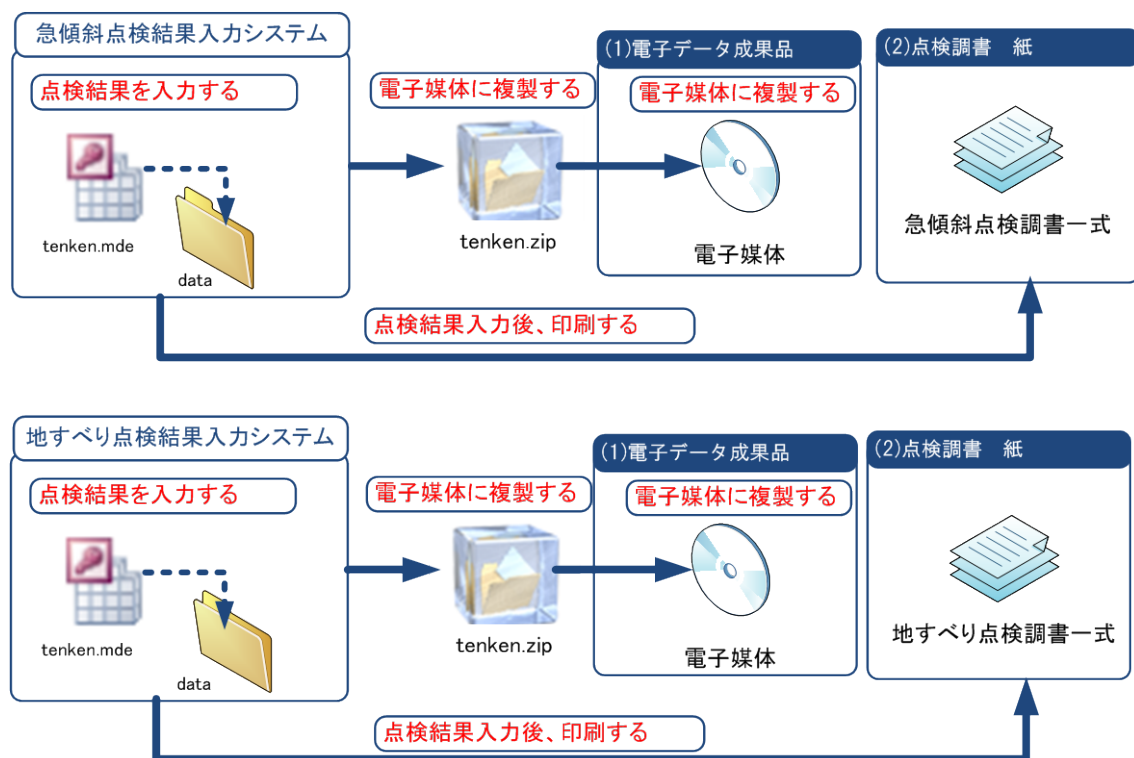
1 総則

急傾斜・地すべり点検調書電子データ作成要領（以下、本要領）は、急傾斜・地すべりアセットマネジメントにおける施設点検に適用します。

2 納品物

納品物は以下のとおりである。

- (1) 電子データ成果品・・・原則として CD-R とする
- (2) 点検調書・・・紙



3 配布する資料

点検結果の電子データを作成するため、以下の資料を配布する。

- (1)急傾斜点検結果入力システムもしくは地すべり点検結果入力システム
(Access ファイル)
- (2)施設調査表 (PDF ファイル)

Access ファイルは Access2007 形式で配布します。

(1)点検結果入力システム (Accessファイル)



tenken.zip

急傾斜点検結果入力システム



tenken.mde

- ①文字データ
点検結果



data

- ②画像データ
変状位置図、観測写真等



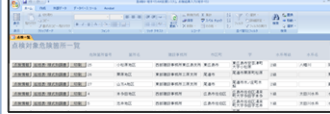
tenken.zip

地すべり点検結果入力システム



tenken.mde

- ①文字データ
点検結果

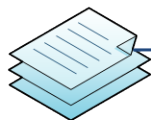


data

- ②画像データ
変状位置図、観測写真等



(2)施設調査表 (PDFファイル)



施設調査表
(PDFファイル)



① 文字データ

文字データは、砂防課より配布する急傾斜点検結果入力システム及び地すべり点検結果入力システム（Access2007 形式のファイル）に必要なデータを入力して作成する。

② 画像データ（画像データは JPEG 形式）

1)位置図

点検情報位置図，変状位置図，観測位置図

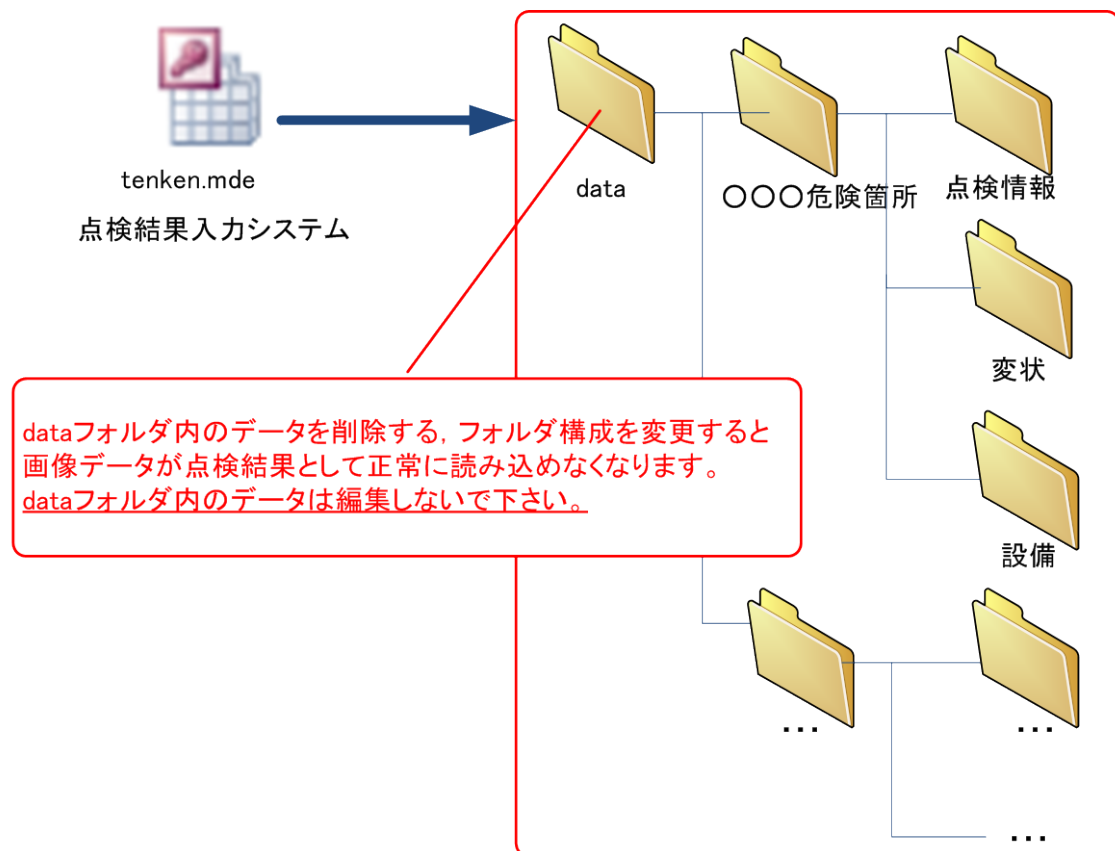
2)写真等

点検情報写真，観測写真,スケッチ等

4 点検結果入力システムにおける注意事項

急傾斜点検結果入力システム及び地すべり点検結果入力システムは Access ファイルです。Access ファイルは Access2007 形式で配布する。

点検結果入力システムで画像を登録すると、自動でdataフォルダにデータが保存されます。



5 電子媒体

電子媒体は原則として CD-R とする。論理フォーマットは ISO9660(レベル 1)を原則とする。

・ 電子媒体には以下の内容を含むラベルを貼ること。

- (1) タイトル
- (2) 危険箇所名, 渓流名（渓流名は地すべりの場合のみ記載すること）
- (3) 市町
- (4) 点検年月及び作成年月日
- (5) 受注者名

・ 電子媒体を入れるプラスチックケースの背表紙に、以下の内容を含むラベルを貼ること。

- (1) タイトル
- (2) 危険箇所名, 渓流名（渓流名は地すべりの場合のみ記載すること）
- (3) 点検年月及び作成年月日

6 ウイルス対策

納品前に以下の項目に従ってウイルス対策を行う。

- (1) 最終成果品が完成した時点で、ウイルスチェックを行う。
- (2) ウイルス対策ソフトは、シェアの高いものを利用する。
- (3) ウイルス対策ソフトは、最新のデータに更新したものを利用する。

ウイルスに感染したデータが納品されることがないように、納品前に必ずウイルスチェックを行う。最新のウイルスも確実に検出できるよう、ウイルス対策ソフトはなるべくシェアが高いソフトを利用し、ウイルス検出用のデータは最新のものを利用する。なお、ウイルス検出用のデータの更新方法はウイルス対策ソフトにより異なるが、通常はインターネットからデータをダウンロードするのが一般的である。

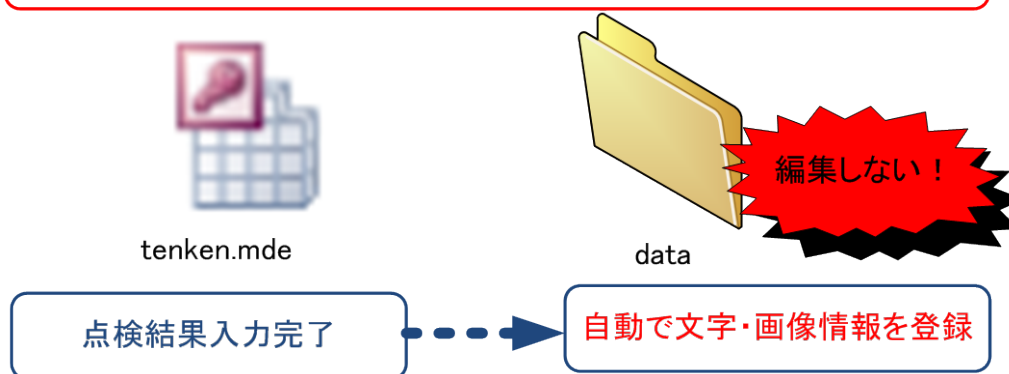
第2章 納品用電子データ作成時の留意事項

点検結果入力システムを以下本システムとする。

1 画像を保存する

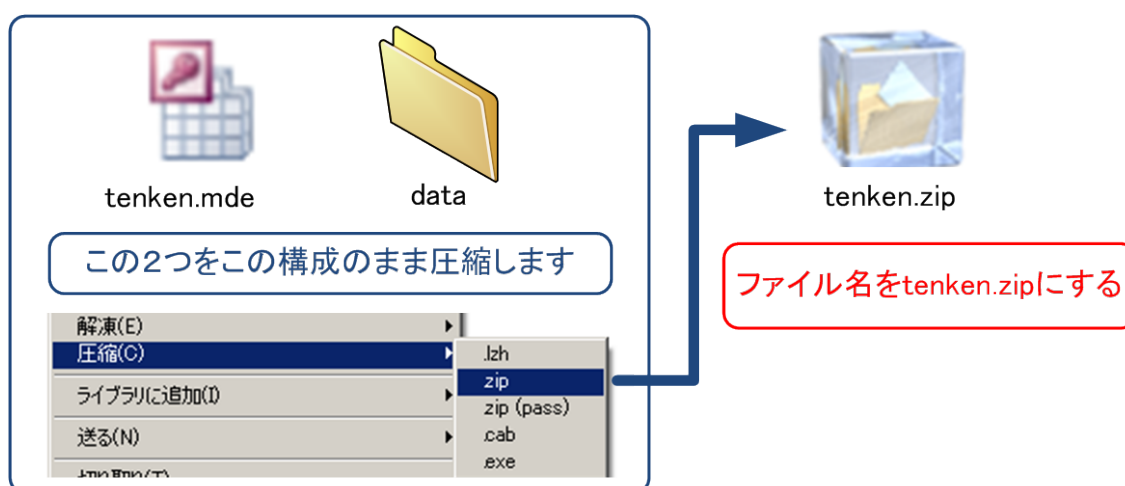
本システムから、点検対象危険箇所について点検結果を入力すると、data フォルダ内に自動で画像が保存されます。data フォルダは編集しないで下さい。

点検結果を入力すると、dataフォルダ内に自動で画像が保存されます。



2 電子データを圧縮する

急傾斜点検結果入力システム及び地すべり点検結果入力システム(tenken.mde)で登録した結果を圧縮して、点検調書電子データ (tenken.zip) を作成します。data フォルダ内のデータを削除する、フォルダ構成を変更すると画像データが点検結果として正常に読み込めなくなります。data フォルダ内のデータは編集しないで下さい。

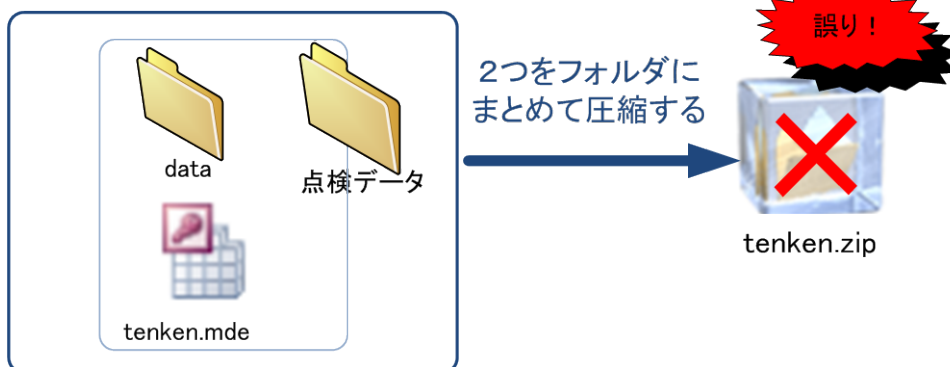


正) 正しい納品用電子ファイルの圧縮方法



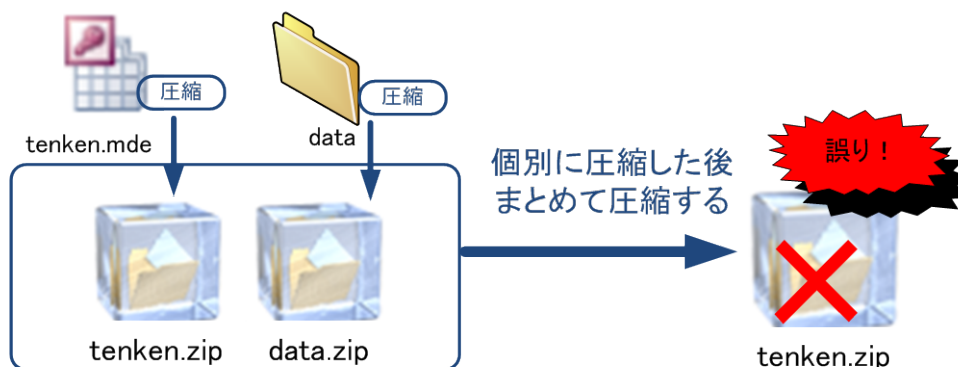
構成を変えずに圧縮する

誤) 誤った納品用電子ファイルの圧縮方法①



別のフォルダにまとめた後、圧縮しない

誤) 誤った納品用電子ファイルの圧縮方法②



個別に圧縮した後、まとめて圧縮しない

3 電子媒体に複製する

作成した点検調書電子データ（tenken.zip）を電子媒体に複製します。

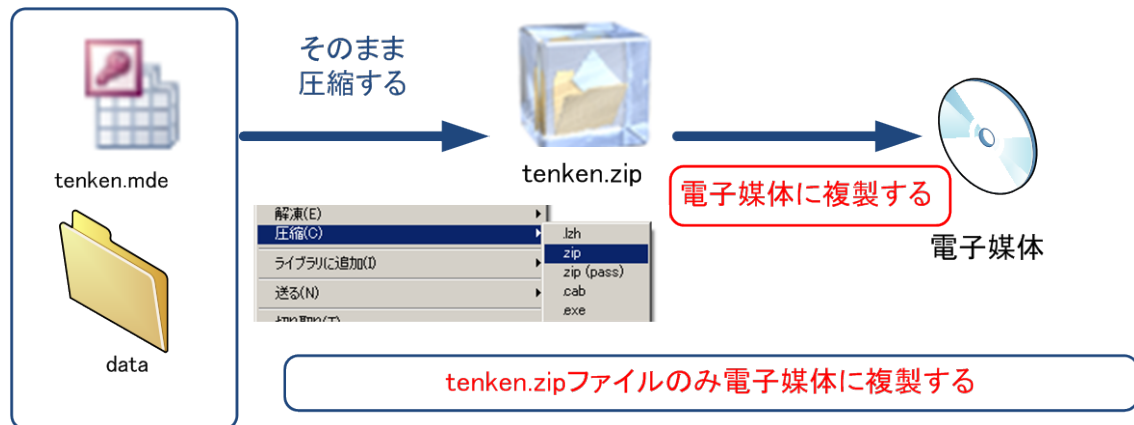


図 1 電子データ作成イメージ

第3章 システムの概要

急傾斜地崩壊対策施設の点検結果は、急傾斜点検結果入力システムに点検結果を登録する。その登録結果をもとに点検調書の電子データを作成する。なお、急傾斜点検結果入力システムは Access ファイル 2007 形式である。急傾斜点検結果入力システム入力結果と、作成した点検調書の電子データの対応について次に示す。

以降、急傾斜地崩壊対策施設は急傾斜地施設と表記する。

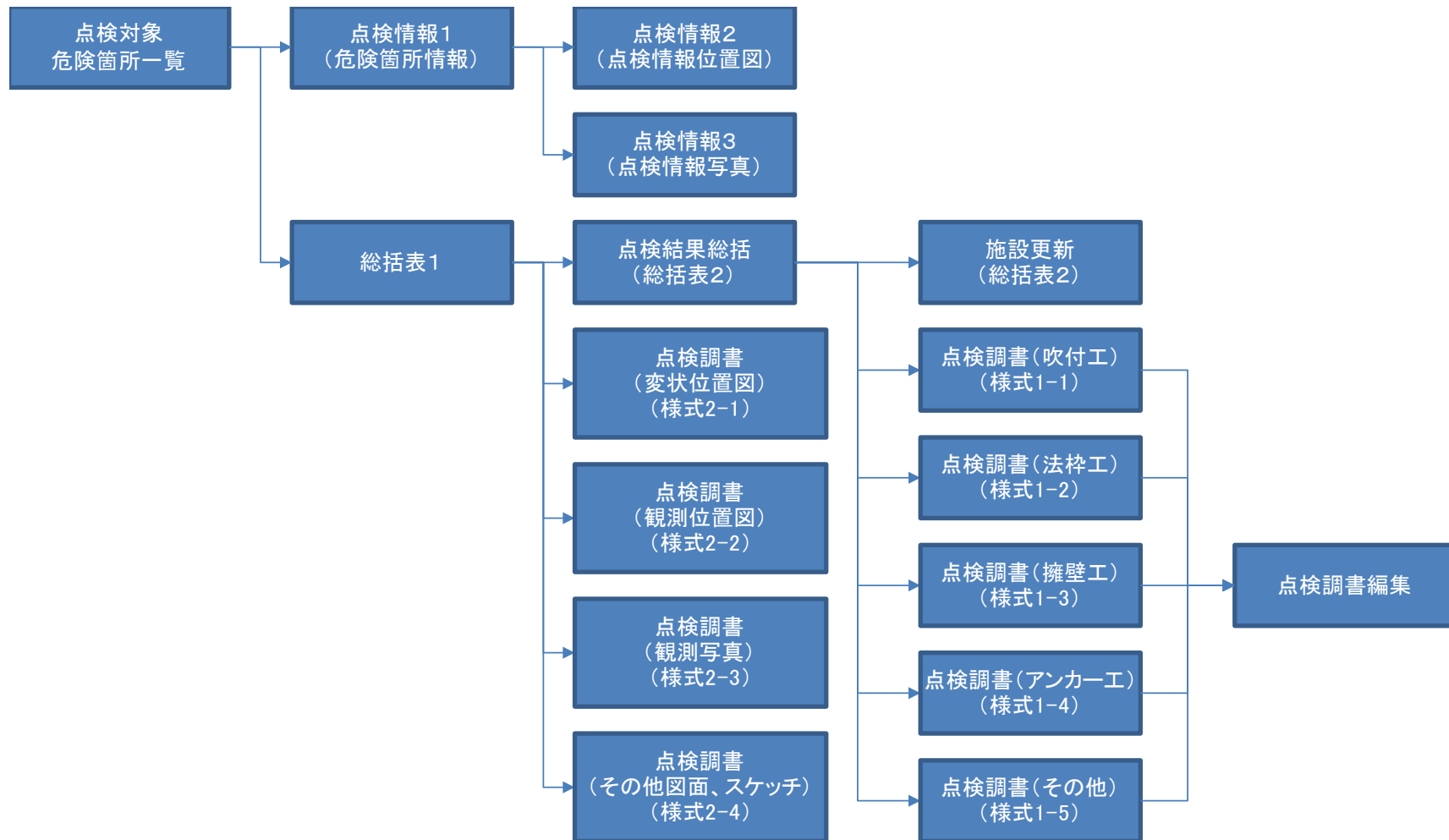
1 急傾斜点検結果入力システムの概要

表 1 急傾斜点検結果入力システム及び点検調書の対応一覧

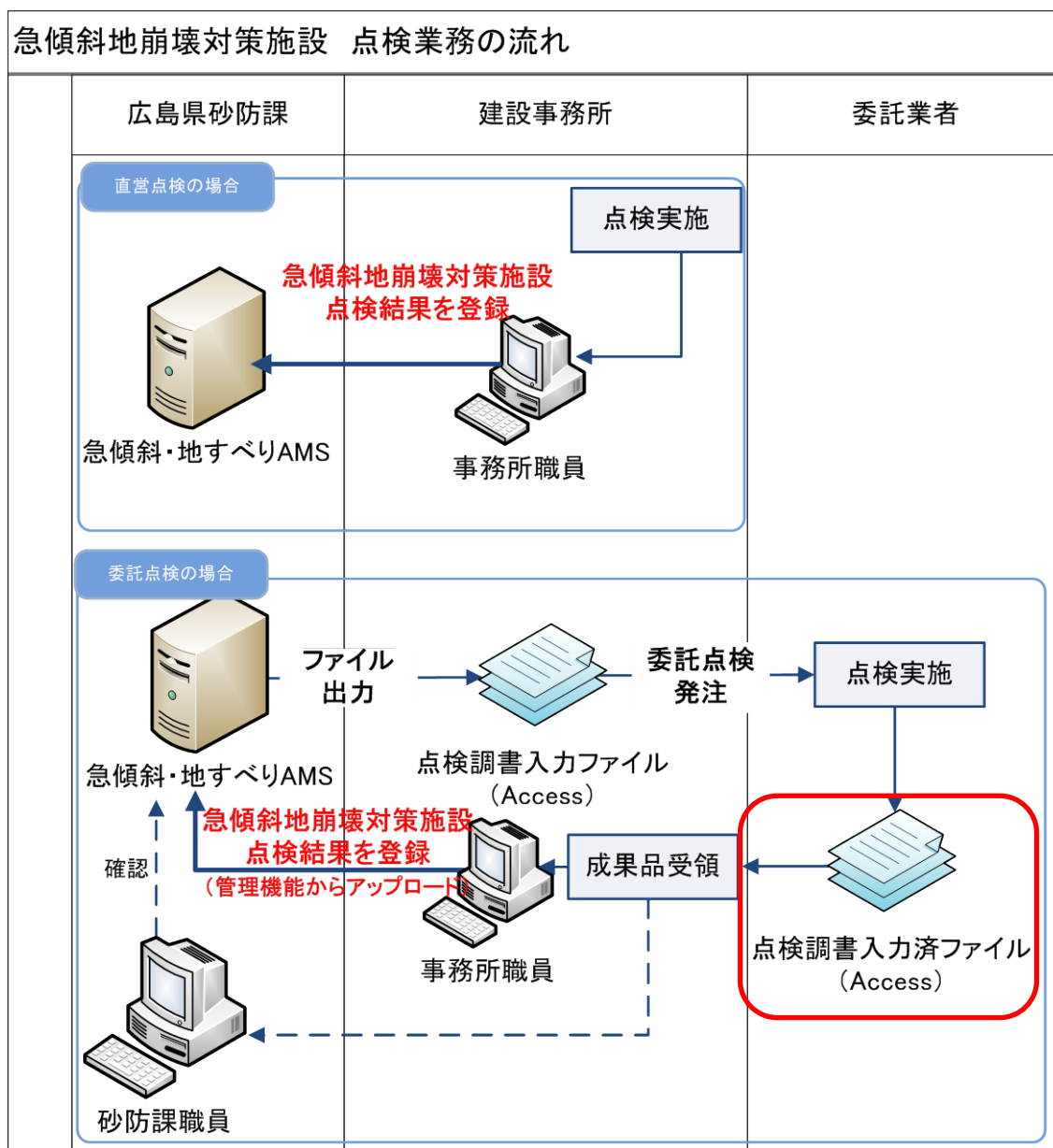
No.	急傾斜点検結果入力システム	急傾斜点検調書
1.	点検対象危険箇所一覧	—
2.	<u>点検対象危険箇所一覧</u> <u>点検情報から</u> 点検情報 1（危険箇所情報） 入力画面	点検調書（点検情報 1 危険箇所情報）
3.	<u>点検対象危険箇所一覧</u> <u>点検情報から</u> 点検情報 2（点検情報位置図） 入力画面	点検調書（点検情報 2 点検情報位置図）
4.	<u>点検対象危険箇所一覧</u> <u>点検情報から</u> 点検情報 3（点検情報写真） 入力画面	点検調書（点検情報 3 点検情報写真）
5.	<u>点検対象危険箇所一覧</u> <u>総括表・様式別調書から</u> 総括表 1 入力画面	点検調書 総括表 1（点検履歴） 点検調書 総括表 2（点検結果総括）
6.	<u>総括表 2（点検結果総括）</u> <u>点検調書から</u> 様式 1-1（点検調書（吹付工）） 入力画面 様式 1-2（点検調書（法枠工）） 入力画面 様式 1-3（点検調書（擁壁工）） 入力画面 様式 1-4（点検調書（アンカー工）） 入力画面 様式 1-5（点検調書（その他）） 入力画面	点検調書 様式-1-1 点検調書（吹付工） 点検調書 様式-1-2 点検調書（法枠工） 点検調書 様式-1-3 点検調書（擁壁工） 点検調書 様式-1-4 点検調書（アンカー工） 点検調書 様式-1-5 点検調書（その他）
7.	<u>総括表 2（点検結果総括）編集から</u> 総括表 2（施設更新） 入力画面	点検調書（点検情報 1 危険箇所情報）

No.	急傾斜点検結果入力システム	急傾斜点検調書
8.	<u>総括表 1 変状位置図（様式 2-1）へから</u> 様式 2-1 点検調書（変状位置図）入力画面	点検調書 様式-2-1 点検調書（変状位置図）
9.	<u>総括表 1 観測位置図（様式 2-2）へから</u> 様式 2-2 点検調書（観測位置図）入力画面	点検調書 様式-2-2 点検調書（観測写真位置図）
10.	<u>総括表 1 観測写真（様式 2-3）へから</u> 様式 2-3 点検調書（観測写真）入力画面	点検調書 様式-2-3 点検調書（観測写真）
11.	<u>総括表 1 その他図面、スケッチ（様式 2-4）へから</u> 様式 2-4 点検調書（その他図面、スケッチ）入力画面	点検調書 様式-2-4 点検調書（その他図面、スケッチ）

2 画面遷移図



3 業務の流れ



 赤枠の作業を行います。

4 地すべり点検結果入力システムの概要

地すべり対策施設の点検結果は、地すべり点検結果入力システムに点検結果を登録する。その登録結果をもとに点検調書の電子データを作成する。なお、地すべり点検結果入力システムは Access ファイル 2007 形式である。地すべり点検結果入力システム入力結果と、作成した点検調書の電子データの対応について次に示す。

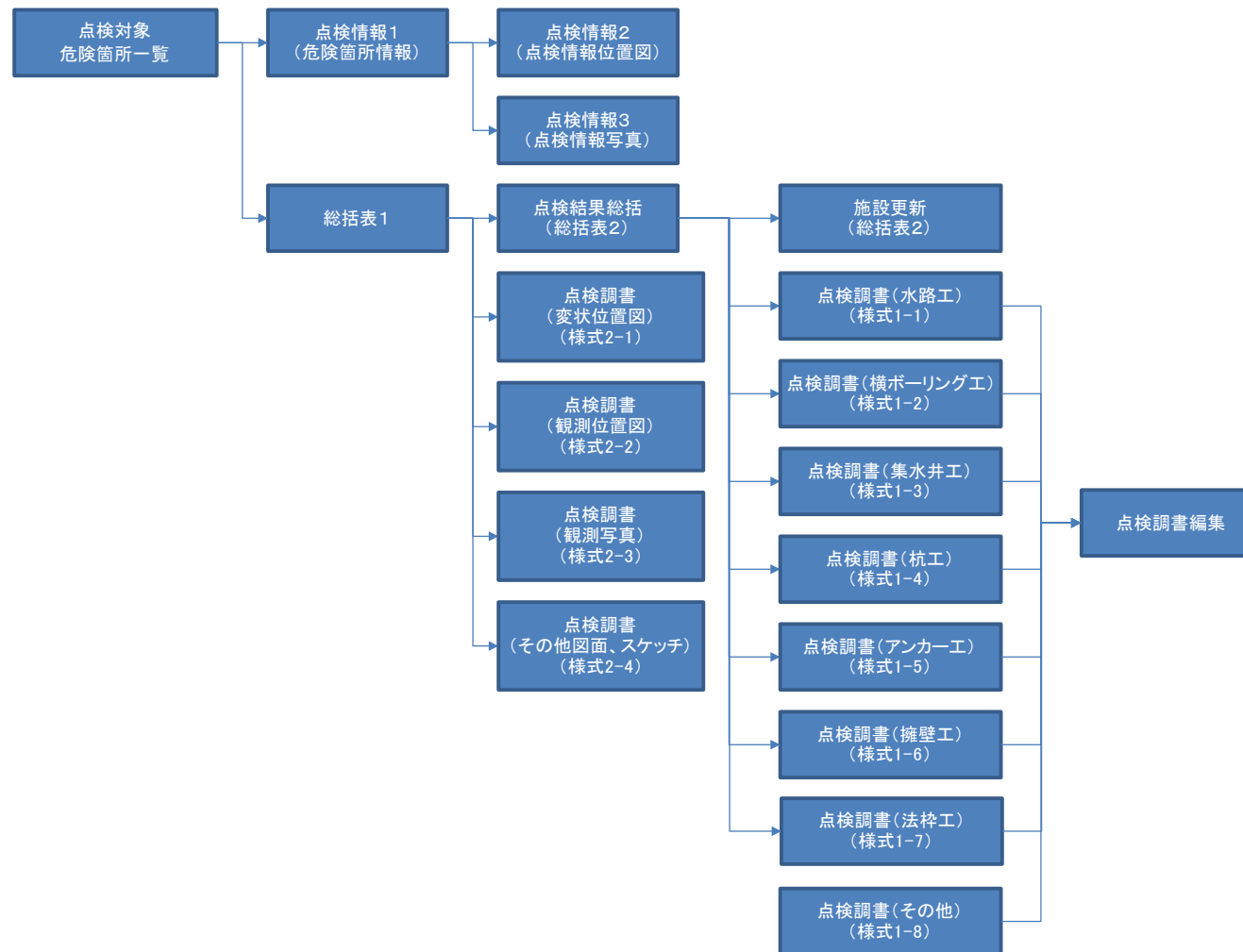
以降、地すべり対策施設は地すべり施設と表記する。

表 2 地すべり点検結果入力システム及び点検調書の対応一覧

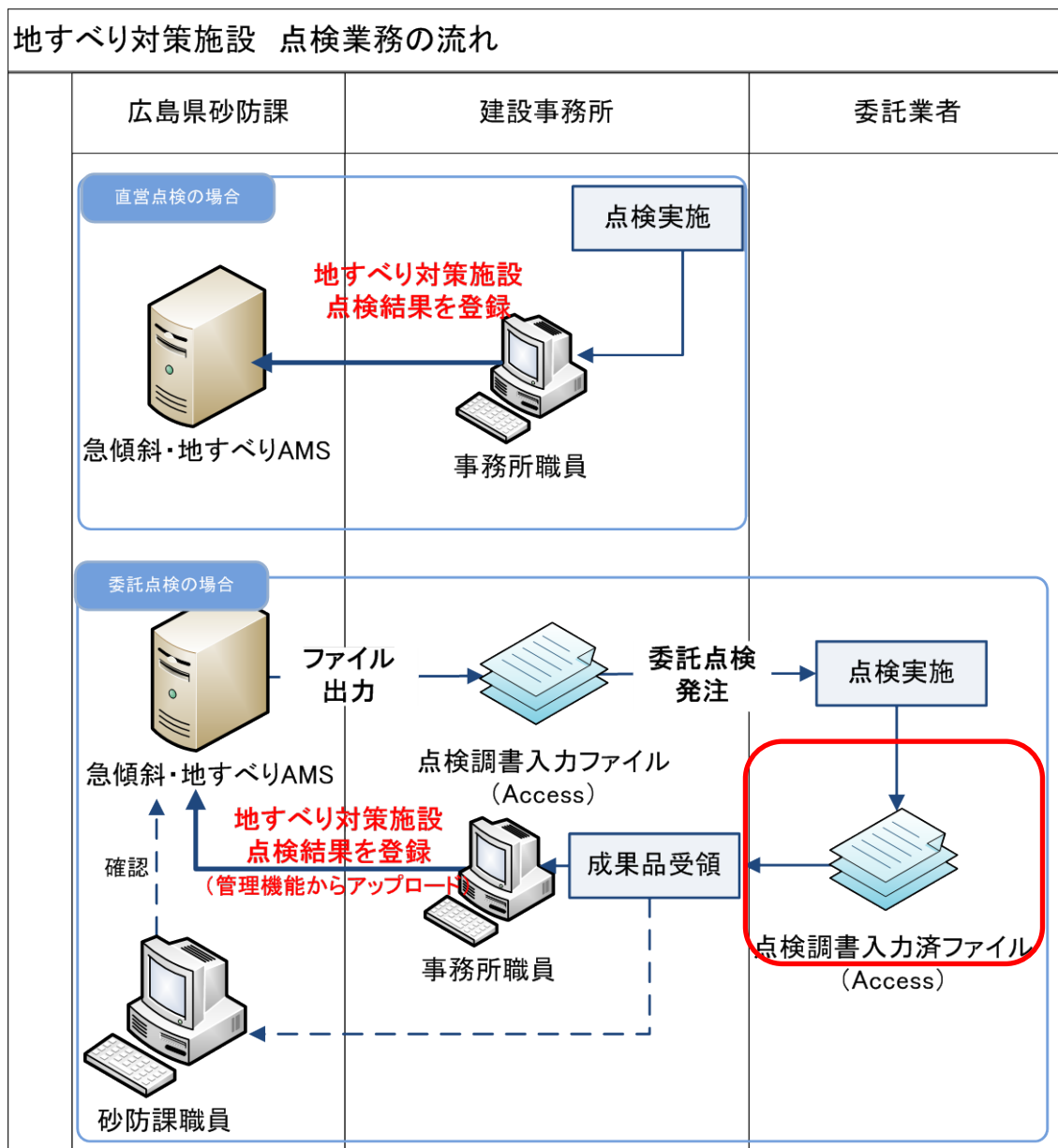
No.	地すべり点検結果入力システム	地すべり点検調書
1.	点検対象危険箇所一覧	—
2.	<u>点検対象危険箇所一覧</u> <u>点検情報から</u> 点検情報 1（危険箇所情報） 入力画面	点検調書（点検情報 1 危険箇所情報）
3.	<u>点検対象危険箇所一覧</u> <u>点検情報から</u> 点検情報 2（点検情報位置図） 入力画面	点検調書（点検情報 2 点検情報位置図）
4.	<u>点検対象危険箇所一覧</u> <u>点検情報から</u> 点検情報 3（点検情報写真） 入力画面	点検調書（点検情報 3 点検情報写真）
5.	<u>点検対象危険箇所一覧</u> <u>総括表・様式別調書から</u> 総括表 1 入力画面	点検調書 総括表 1（点検履歴） 点検調書 総括表 2（点検結果総括）
6.	<u>総括表 2（点検結果総括）</u> <u>点検調書から</u> 様式 1-1（点検調書（水路工））入力画面 様式 1-2（点検調書（横ボーリング工））入力画面 様式 1-3（点検調書（集水井工））入力画面 様式 1-4（点検調書（杭工））入力画面 様式 1-5（点検調書（アンカー工））入力画面 様式 1-6（点検調書（擁壁工））入力画面 様式 1-7（点検調書（法枠工））入力画面 様式 1-8（点検調書（その他））入力画面	点検調書 様式-1-1 点検調書（水路工） 点検調書 様式-1-2 点検調書（横ボーリング工） 点検調書 様式-1-3 点検調書（集水井工） 点検調書 様式-1-4 点検調書（杭工） 点検調書 様式-1-5 点検調書（アンカー工） 点検調書 様式-1-6 点検調書（擁壁工） 点検調書 様式-1-7 点検調書（法枠工） 点検調書 様式-1-8 点検調書（その他）
7.	<u>総括表 2（点検結果総括）編集から</u> 総括表 2（施設更新）入力画面	点検調書（点検情報 1 危険箇所情報）

No.	地すべり点検結果入力システム	地すべり点検調書
8.	<u>総括表 1 変状位置図（様式 2-1）へから</u> 様式 2-1 点検調書（変状位置図）入力画面	点検調書 様式-2-1 点検調書（変状位置図）
9.	<u>総括表 1 観測位置図（様式 2-2）へから</u> 様式 2-2 点検調書（観測位置図）入力画面	点検調書 様式-2-2 点検調書（観測写真位置図）
10.	<u>総括表 1 観測写真（様式 2-3）へから</u> 様式 2-3 点検調書（観測写真）入力画面	点検調書 様式-2-3 点検調書（観測写真）
11.	<u>総括表 1 その他図面、スケッチ（様式 2-4）へから</u> 様式 2-4 点検調書（その他図面、スケッチ）入力画面	点検調書 様式-2-4 点検調書（その他図面、スケッチ）

5 画面遷移図



6 業務の流れ



 赤枠の作業を行います。

第4章 点検前の事前準備について

1 概要

以下のマニュアルを参照すること

- 1) 個別施設維持管理ガイドライン【急傾斜・地すべり編】
- 2) 施設点検マニュアル

2 点検時に持参するもの

- 1) ロープ、はしご等点検時に必要な道具
- 2) GPS 付デジタルカメラ
- 3) 施設調査表 点検対象危険箇所分
- 4) 最終点検後の点検調書 点検対象危険箇所分

初回点検であれば、点検調書ひな形を準備します。急傾斜点検結果入力システム及び地すべり点検結果入力システムから出力出来ます。

- 5) 位置情報を確認できるもの

点検調書で変状箇所図を登録する必要があります。

最終点検後の点検調書サンプル

急傾斜 点検調書2(点検前位置図)

急傾斜 点検結果表

点検箇所	点検箇所番号	点検箇所名	点検箇所説明	点検箇所図	点検箇所写真	点検箇所写真説明	点検箇所写真撮影日時	点検箇所写真撮影者
急傾斜	1-1-1019	急傾斜	急傾斜	急傾斜	急傾斜	急傾斜	急傾斜	急傾斜
急傾斜	1-1-1019	急傾斜	急傾斜	急傾斜	急傾斜	急傾斜	急傾斜	急傾斜
急傾斜	1-1-1019	急傾斜	急傾斜	急傾斜	急傾斜	急傾斜	急傾斜	急傾斜

急傾斜 点検調書(観測写真)

急傾斜 点検調書(傾斜計)

急傾斜 点検調書(傾斜計)

急傾斜 点検調書(傾斜計)

3 点検場所の周辺情報を点検調書から確認する

点検調書（点検情報 1），点検調書（点検情報 2），点検調書（点検情報 3）で点検する施設を確認できます。

[illegible]

点検調書 点検情報 1 (危険箇所情報)

[illegible]

点検調書 点検情報 2 (点検情報写真)

[illegible]

点検調書 点検情報 3 (点検情報位置図)

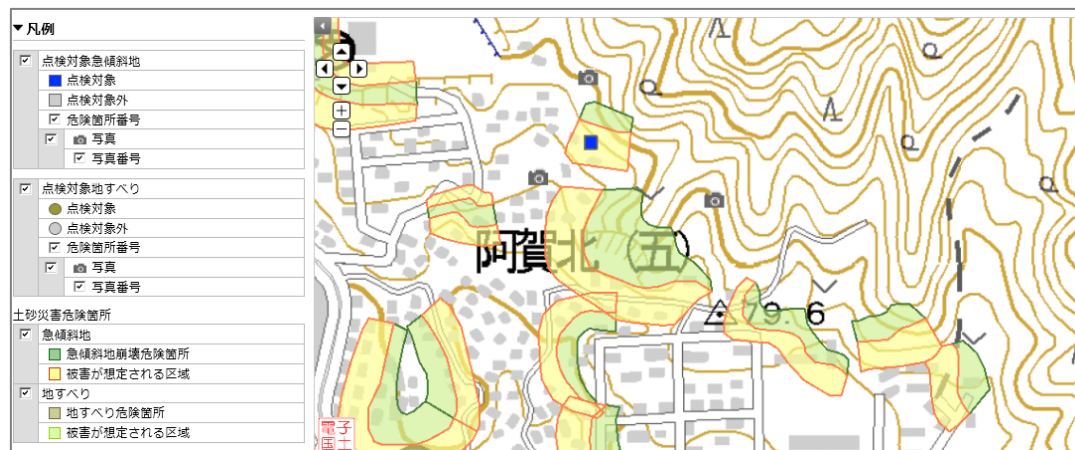
点検する施設や危険箇所の周辺情報を確認

点検する施設や危険箇所の位置を確認

第5章 点検結果登録の留意事項について

1 GPS 付デジタルカメラを使用して簡単に点検登録する

急傾斜施設、地すべり施設の点検では、観測写真の座標を入力する必要があります。GPS 付デジタルカメラで撮影した写真を登録すると簡単に座標入力できます。



様式2-3 点検調書(観測写真)

新規追加 並び順を反映 閉じる

※: 必須入力。

危険箇所番号	I-1-1009	箇所名	広横路1丁目2	管理者	広島県	斜面区分	自然
建設事務所	西部建設事務所呉支所	市区町	呉市	字	呉市広横路1丁目2-35		



写真番号 * (1)-1

表題 モルタル吹付工① 全景

備考

写真サイズ ☒ 通常写真(小) ☐ つなぎ写真(中) ☐ 図面(大)

緯度 [GoogleMap起動](#)

経度 ※ 位置情報を取得し「緯度」、「経度」を入力して下さい。

表示順 * 1

ファイル名 * モルタル①.jpg



写真番号 * (1)-2

表題 モルタル吹付工① 損傷写真

備考

写真サイズ ☒ 通常写真(小) ☐ つなぎ写真(中) ☐ 図面(大)

緯度 [GoogleMap起動](#)

経度 ※ 位置情報を取得し「緯度」、「経度」を入力して下さい。

表示順 * 2

ファイル名 * モルタル①損傷.jpg

観測写真の座標を登録



GPS 付カメラで撮影していない等、座標が入力されない場合は Google Maps から座標を取得します

※損傷がない施設は損傷無として登録します。

様式1-2 (点検調査書(法枠工))

※記入例

1-1-1008
 阿賀北5丁目
 建設事務所

島市
 島市阿賀北5丁目20
 自然

第1343地区
 (調査区) 第(238)号
 1978/09/20

埋蔵(打付待工)
 土木小分類
 延長
 80

35
 50

点検 対象	対象物	項目	損傷細目	評価	内容	測定方法	写真番号
			損傷箇所	損傷状況	(状況、程度、変化度等)		
改付	美化(化粧●)						編集
改付	塗装(ケラック●)						編集
改付	漆喰						編集
改付	塗装・変形						編集
改付	空剥(●)						編集
改付	変状						編集
落石防護工	破壊・変状						編集
落石防護工	落石・土砂埋積						編集
落石防護工	変状						編集

その他特記事項

3 危険箇所ごとに変状箇所位置図を登録する

危険箇所ごとに損傷があった施設が分かるよう変状位置図を登録します。参考事例では、施設調査表の位置図を利用しています。

様式2-1 点検調書(変状位置図)

新規追加 並び順を反映 閉じる

※: 必須入力。

危険箇所番号 1-1-1009 箇所名 広橋路1丁目2 管理者 広島県 斜面区分 自然
建設事務所 西部建設事務所呉支所 市区町 呉市 字 呉市広橋路1丁目2-35

図面番号 * 1 削除

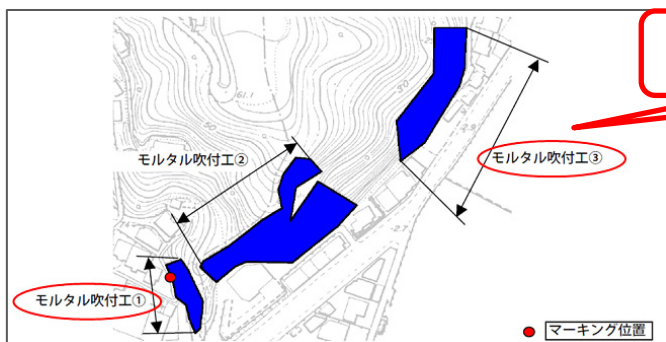
表題 変状位置図

備考

写真サイズ ☐ 通常写真(小) ☐ つなぎ写真(中) ☒ 図面(大)

表示順 * 1

ファイル名 * 変状位置図3.jpg 参照



損傷がある急傾斜施設に印をつける

様式2-1 点検調書(変状位置図)

新規追加 並び順を反映 閉じる

※: 必須入力。

危険箇所番号 25 箇所名 小松原地区 建設事務所 西部建設事務所東広島支所
市区町 東広島市 字 東広島市安芸津町大字小松原

水系等級 2級 水系名 八幡川 幹川名 岡の下川 溪流名 五日市

図面番号 * 1 削除

表題 変状位置図

備考

写真サイズ ☐ 通常写真(小) ☐ つなぎ写真(中) ☒ 図面(大)

表示順 *

ファイル名 * 変状箇所位置図.jpg 参照



損傷がある地すべり施設に印をつける

4 危険箇所ごとに観測位置図を登録する

危険箇所ごとに点検中に撮影した観測写真の位置図を登録します。参考事例では、施設調査表の位置図を利用しています。

様式2-2 点検調書(観測位置図)

新規追加 並び順を反映 閉じる

※:必須入力。

危険箇所番号	I-1-1009	箇所名	広横路1丁目2	管理者	広島県	斜面区分	自然
建設事務所	西部建設事務所呉支所	市区町	呉市	字	呉市広横路1丁目2-35		

図面番号 * 1 削除

表題 観測写真位置図

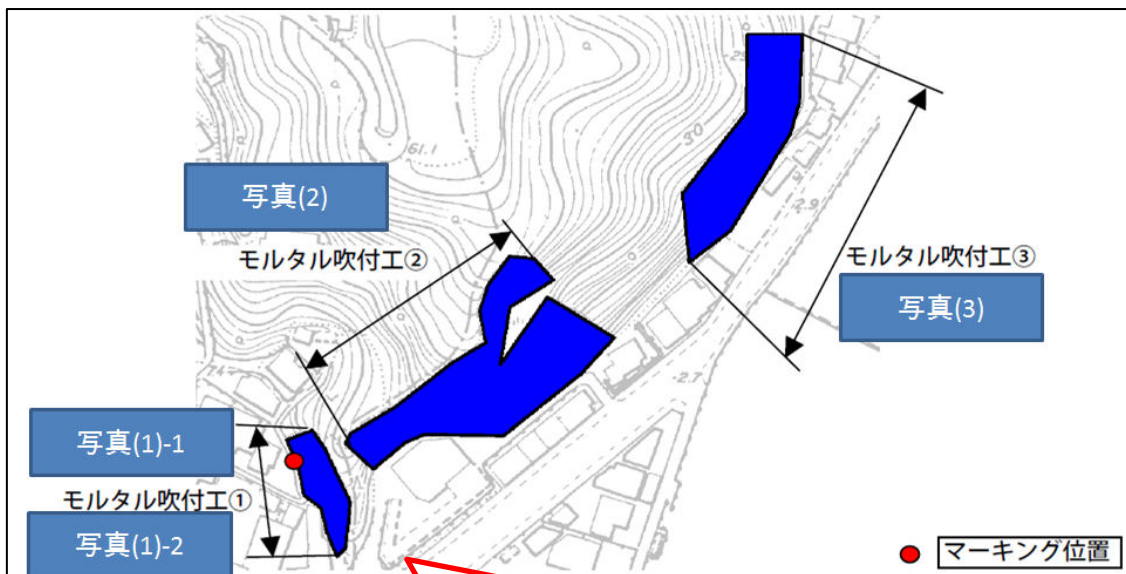
備考

写真サイズ ☐ 通常写真(小) ☐ つなぎ写真(中) ☒ 図面(大)

表示順 * 1

ファイル名 * 観測写真位置図_1.jpg 参照

レコード 1/1 フィルタなし 検索

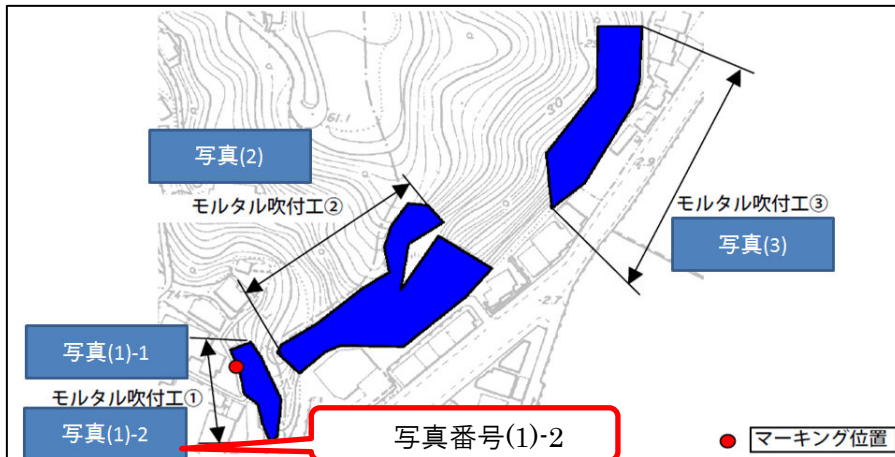


観測写真に設定する番号の位置図記載します

5 観測写真の画像，座標を登録する

①様式 1-1（点検調書（吹付工））等：写真番号を入力する

②様式 2-3 点検調書（観測写真）：観測写真の画像,座標を登録する



様式1-1(点検調書(吹付工))

※:必須入力。

危険箇所番号	I-1-1009	箇所名	広橋路1丁目2	建設事務所	西部建設事務所呉支所
市区町	呉市	字	呉市広橋路1丁目2-35	斜面区分	自然
地区名	連蔵新開地区	告示番号	(県告示第 915号)	告示年月日	1975/10/28
施設名	モルタル吹付工①	工法大分類	吹付工	工法小分類	モルタル等吹付工
施設高	12m	勾配	60°	延長	46m
所見					

点検対象	対象物	項目	損傷範囲	評価	内容	測定方法	写真番号
吹付	劣化・はく離(●)	無	b	新	軽微な損傷	目視	(1)-2
吹付	亀裂(クラック)	無					

写真番号(1)-2

様式2-3 点検調書(観測写真)

※:必須入力。

危険箇所番号	I-1-1009	箇所名	広橋路1丁目2	管理者	広島県	斜面区分	自然
建設事務所	西部建設事務所呉支所	市区町	呉市	字	呉市広橋路1丁目2-35		

写真番号 * (1)-1

表題 モルタル吹付工① 全景

写真サイズ ☒ 通常写真(小) ☐ つなぎ写真(中) ☐ 図面(大)

緯度 経度 表示順 * 1

ファイル名 * モルタル①.jpg

写真番号 * (1)-2

表題 モルタル吹付工① 損傷写真

写真サイズ ☒ 通常写真(小) ☐ つなぎ写真(中) ☐ 図面(大)

緯度 経度 表示順 * 2

ファイル名 * モルタル①損傷写真.jpg

観測写真の画像、座標を登録

6 危険箇所情報に修正が必要な場合

危険箇所情報に修正が必要な場合は以下から修正できます。ただし、修正を行った場合は、別途各事務所に報告をお願いします。

点検情報1(危険箇所情報)

閉じる

※:必須入力。

危険箇所番号

I-1-1009

箇所名

広横路1丁目2

管理者

広島県

斜面区分

自然

建設事務所

西部建設事務所呉支所

市区町

呉市

字

呉市広横路1丁目2-35

現場へのアクセス

良好

点検方法

委託推奨

必要な機材

☐ 脚立

☒ 梯子

☒ ロープ

☐ 安全帯

☒ カマナタ

☒ ノコギリ

☐ その他

アクセス時間

80 分

点検時間

300 分

地元聞取

備考

点検情報2

点検情報3

7 施設情報に修正が必要な場合

施設情報に修正が必要な場合は以下から修正できます。ただし、修正を行った場合は、別途各事務所に報告をお願いします。

修正を行った場合、過去に入力された点検結果は引き継がれなくなるため、留意して下さい。

新規の施設追加はここから

総括表2(点検結果総括)

総括表2(点検結果総括)

新規追加 閉じる

表示順	点検対象	危険箇所番号	様式	施設名	工法		施設諸元	
					大分類	小分類		
削除 点検調書 施設編集	1	○	I-1-1009	吹付	モルタル吹付工①	吹付工	モルタル等吹付工	L=46.0 H=12.0m~
削除 点検調書 施設編集	2	×	I-1-1009	吹付	モルタル吹付工②	吹付工	モルタル等吹付工	L=105.0 H=30.0m~
削除 点検調書 施設編集	3	×	I-1-1009	吹付	モルタル吹付工③	吹付工	モルタル等吹付工	L=98.0 H=20.0m~

レコード 1 / 3

総括表2(施設更新)

総括表2(施設更新)

閉じる

*: 必須入力。

表示順	*	1	箇所名	広横路1丁目2
点検対象	*	○	建設事務所	西部建設事務所呉支所
危険箇所番号		I-1-1009	市区町	*
様式		吹付	字	呉市広横路1丁目2-35
施設名		モルタル吹付工①	斜面区分	自然
工法大分類	*	吹付工		
工法小分類	*	モルタル等吹付工		
延長		46 m	地区名	連蔵新開地区
施設高		12 m ~	告示番号	(県告 第 915 号)
勾配		60 ° ~	告示年月日	1975/10/28
県		○		
市				
施工年度				

8 点検結果登録の完了

点検結果の登録が完了したら、入力状況を「入力済み」に切り替えます。

危険箇所番号	箇所名	建設事務所	市区町	字	管理者	入力状況
点検情報 総括表 様式別調書 印刷 I-1-1009	広橋路1丁目2	西部建設事務所呉支所	呉市	呉市広橋路1丁目2-35	広島県	入力済み
点検情報 総括表 様式別調書 印刷 I-1-1010	広橋路1丁目4	西部建設事務所呉支所	呉市	呉市広橋路1丁目4-43	広島県、呉市	未入力
点検情報 総括表 様式別調書 印刷 I-1-1011	広橋路1丁目5	西部建設事務所呉支所	呉市	呉市広橋路1丁目5-1	不明	未入力

第6章 その他注意事項

1 様式別点検調書入力時の損傷状況について

様式1-1(点検調書(吹付工))

※:必須入力。

危険箇所番号	I-1-1009	箇所名	広横路1丁目2	建設事務所	西部建設事務所呉支所
市区町	呉市	字	呉市広横路1丁目2-35	斜面区分	自然
地区名	連蔵新開地区	告示番号	(県告第 915 号)	告示年月日	1975/10/28
施設名	モルタル吹付工①	工法大分類	吹付工	工法小分類	モルタル等吹付工
施設高	12 m ~ m	勾配	60° ~ °	施工年度	~
延長	46 m	対策区分	B		
所見					

点検対象	対象物	項目	損傷範囲	評価		内容 (状況、程度、変化度合い)	測定方法	写真番号	
				損傷ランク	損傷状況				
吹付	劣化・はく離(●)	無	b	新	軽微な損傷	目視	(1)-2	編集	
吹付	亀裂(クラック)(●)	無						編集	
吹付	湧水	無						編集	
吹付	変位・変形	無						編集	

斜ア急様式点検明細

様式1-1(点検調書(吹付工))

閉じる

対象物名	吹付	点検対象 ☐
備考		
項目名	劣化・はく離	
損傷範囲	無	
評価(損傷ランク)	b	
評価(損傷状況)	新	
内容	新 拡大 旧	
測定方法	目視	
写真番号	(1)-2	

選択なし：点検対象でない、損傷がない場合に選択します

新：損傷を確認した時点で、損傷ができたと想定できる場合に選択します

拡大：前回点検と比較して損傷が拡大した場合に選択します。

旧：損傷を確認した時点で、一定期間以上前に損傷ができたと想定できる場合に選択します

2 画像登録時のファイルサイズ等について

- ・ 帳票へ印刷するため、写真や図面は JPEG 形式で登録ください。
- ・ ファイルサイズは 1MB/枚、1 点検あたり最大 30 枚まで登録できます。
- ・ 写真登録する時、座標を登録すると、写真等を地図上に表示することができます。
- ・ GPS 付デジタルカメラで撮影した写真は、ファイルを登録すると自動で座標が登録できます。

様式2-3 点検調書(観測写真)

新規追加 並び順を反映 閉じる

※:必須入力。

危険箇所番号	I-1-1009	箇所名	広横路1丁目2	管理者	広島県	斜面区分	自然
建設事務所	西部建設事務所呉支所	市区町	呉市	字	呉市広横路1丁目2-35		

	写真番号 *	(1)-1	削除
	表題	モルタル吹付工① 全景	
	備考		
	写真サイズ	☒ 通常写真(小) ☐ つなぎ写真(中) ☐ 図面(大)	
	緯度		GoogleMap起動
	経度		※ 位置情報を取得し「緯度」、「経度」を入力して下さい。
	表示順 *	1	
ファイル名 *	モルタル①.jpg	参照	
	写真番号 *	(1)-2	削除
	表題	モルタル吹付工① 損傷写真	
	備考		
	写真サイズ	☒ 通常写真(小) ☐ つなぎ写真(中) ☐ 図面(大)	
	緯度		GoogleMap起動
	経度		※ 位置情報を取得し「緯度」、「経度」を入力して下さい。
	表示順 *	2	
ファイル名 *	モルタル① 損傷写真.jpg	参照	

レコード: 1 / 4 フィルタなし 検索

3 画像登録のサイズの違いについて

様式2-2 点検調査(観測位置図)

新規追加 並び順を反映 閉じる

※:必須入力。

危険箇所番号 I-1-1009 箇所名 広横路1丁目2 管理者 広島県 斜面区分 自然
建設事務所 西部建設事務所呉支所 市区町 呉市 字 呉市広横路1丁目2-35

図面番号 * 1 削除

表題 観測写真位置図

備考

写真サイズ ☒ 通常写真(小) ☐ つなぎ写真(中) ☒ 図面(大)

表示順 * 1

ファイル名 * 観測写真位置図_1.jpg 参照

レコード 1/1 フィルタなし 検索

様式2-3 点検調査(観測写真)

新規追加 並び順を反映 閉じる

※:必須入力。

危険箇所番号 I-1-1009 箇所名 広横路1丁目2 管理者 広島県 斜面区分 自然
建設事務所 西部建設事務所呉支所 市区町 呉市 字 呉市広横路1丁目2-35

写真番号 * (1)-1 削除

表題 モルタル吹付工

備考

写真サイズ ☒ 通常写真(小) ☐ つなぎ写真(中) ☐ 図面(大)

緯度

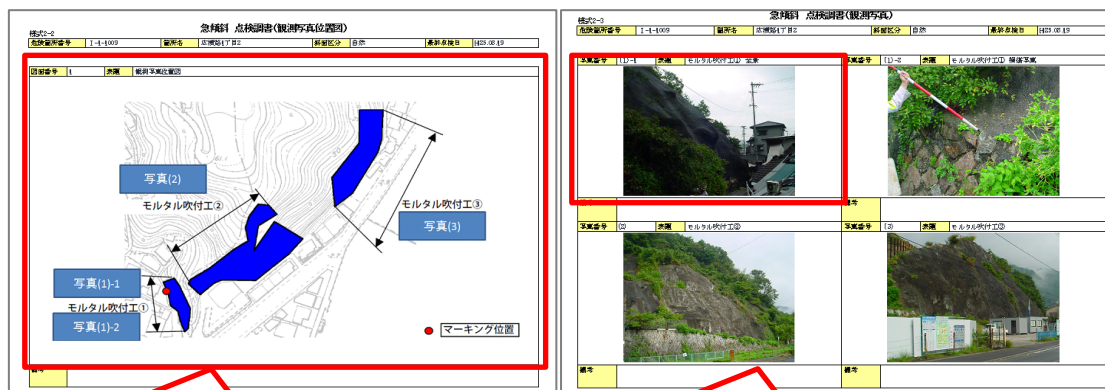
経度

表示順 * 1

ファイル名 * モルタル①.jpg 参照

Google Map 起動

※ 位置情報を取得し「緯度」「経度」を入力して下さい。



①図面(大)を選択

②通常写真(小)を選択

4 観測写真位置図の作成方法について

次のような作成方法を推奨します。

